



平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

コード番号 7707 URL <http://www.pss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田島 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長

(氏名) 秋本 淳

TEL 047-303-4800

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第3四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	2,356	△49.8	△249	—	△231	—	△227	—
22年6月期第3四半期	4,697	64.9	792	280.6	771	341.6	694	584.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	△2,492.55	—
22年6月期第3四半期	16,208.49	16,183.18

(注)平成22年5月14日開催の取締役会決議により、平成22年7月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	5,042	3,020	56.5	31,196.30
22年6月期	5,238	3,370	60.7	69,741.46

(参考)自己資本 23年6月期第3四半期 2,846百万円 22年6月期 3,182百万円

(注)平成22年5月14日開催の取締役会決議により、平成22年7月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
23年6月期	—	0.00	—		
23年6月期 (予想)				0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

(注)平成22年5月14日開催の取締役会決議により、平成22年7月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	△43.2	△260	—	△280	—	△260	—	△2,849.00

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.5「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期3Q 91,260株 22年6月期 45,630株

② 期末自己株式数 23年6月期3Q 一株 22年6月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期3Q 91,260株 22年6月期3Q 42,845株

(注)平成22年5月14日開催の取締役会決議により、平成22年7月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」ならびに平成23年2月4日付で発表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長や政府による経済対策に牽引され、回復基調を維持したものの、為替レートや原油価格の動向、雇用情勢の悪化も長期化していることから、先行きは不透明な状況のまま推移いたしました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、電力の供給不足や物流網の混乱を起こしており、今後の動向に注意が必要な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、バイオ関連業界において、遺伝子やタンパク質の解析や診断に利用される自動化装置の製造販売、それら装置に使用される試薬や反応容器などの消耗品類の製造販売に注力してまいりました。

当社グループの主力製品は、血液や組織細胞から遺伝子やタンパク質を抽出・精製するための自動化装置（DNA自動抽出装置）であり、当社の特許技術を利用したオリジナル製品群であります。これら製品は、大手企業へのOEM販売（相手先ブランドによる販売）を中心にワールドワイドに展開しております。主要なOEM先は、ロシユグループ、キアゲングループ、三菱化学メディエンス㈱、ライフテクノロジーズ社、ベックマン・コールター社、ナノistring社などとなっております。

また、近年はOEMばかりではなく、自社ブランドによる販売展開にも注力しております。

前連結会計年度は、世界的な新型インフルエンザの流行や警察における科学捜査の進展などにより、当社グループの製品需要も盛り上がりを見せ、1年を通じてたいへん好調な業績を確保いたしました。しかしながら、新型インフルエンザの流行が終了する過程において、出荷過多となった装置及びプラスチック消耗品が、流通段階で過剰在庫となってしまう、当連結会計年度に入り、販売に苦戦する状況が続いております。特に、主力OEM先であるロシユグループ及びキアゲングループにおいて顕著な影響がでています。

その結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高2,356百万円（前年同期比49.8%減）、営業損失249百万円（前年同期は営業利益792百万円）、経常損失231百万円（前年同期は経常利益771百万円）、四半期純損失227百万円（前年同期は四半期純利益694百万円）となりました。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
ロシユグループ	2,499	53.2	691	29.3	72.3	2,960	52.5
キアゲングループ	1,074	22.9	570	24.2	46.9	1,278	22.7
その他OEM先	864	18.4	812	34.5	6.0	1,072	19.0
自社販売先	258	5.5	281	12.0	9.1	326	5.8
合計	4,697	100.0	2,356	100.0	49.8	5,637	100.0

ロシユグループ及びキアゲングループ向け販売は、前年同期は、新型インフルエンザに関する遺伝子検査の需要が盛り上がり、大幅な売上増加がございましたが、当第3四半期連結累計期間は、その反動から、大きく売上高が減少いたしました。

その他OEM先に関しては、米国OEM先3社及び三菱化学メディエンス㈱への販売に努めましたが、前年同期において、米国ライフテクノロジーズ社を通じた国内の警察関係への大量販売があったため、その分を全額カバーするまでには至らず、若干の売上減少となりました。

自社販売に関しては、エピジェネティクス解析の前処理や次世代型シーケンサーの前処理など、当社装置の応用範囲を広げる展開に注力し、前年同期比で増収を確保いたしました。

製品区分別の売上高は、下表のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
DNA自動抽出装置等	3,115	66.3	1,524	64.7	51.1	3,458	61.3
その他理化学機器	28	0.6	45	1.9	62.7	28	0.5
その他製品	389	8.3	301	12.8	22.6	551	9.8
商品(プラスチック消耗品)	1,163	24.8	485	20.6	58.3	1,598	28.4
合計	4,697	100.0	2,356	100.0	49.8	5,637	100.0

DNA自動抽出装置等

当区分は、当社の特許技術を利用した自動化装置の区分であり、ロシュグループやキアゲングループ等に供給しているDNA自動抽出装置の他、三菱化学メディエンス㈱に供給している免疫化学発光測定装置や自社ブランド展開しているタンパク質自動精製装置などがあります。

前年同期には、新型インフルエンザの遺伝子検査の需要や国内警察関係への大量販売などがありましたが、当第3四半期連結累計期間は、そういった影響は無くなり、特にロシュグループ及びキアゲングループ向けの出荷が大きく落ち込んだことから、売上高1,524百万円(前年同期比51.1%減)となりました。

四半期毎の販売推移は、下表のとおりであります。販売単価は、機種により価格帯が異なるため、その影響から変動しているものであります。

	前連結会計年度				当連結会計年度		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
販売台数 (台)	298	435	643	197	316	169	281
販売金額 (千円)	691,500	1,063,716	1,360,228	343,436	623,144	355,111	546,226
販売単価 (千円)	2,320	2,445	2,115	1,743	1,971	2,101	1,943

その他理化学機器

当区分は、研究施設や検査センターなどで利用される特注自動化機器、各省庁やその外郭団体などからの受託研究開発事業、また、顧客からの要望による新機種開発などの開発売上も区分されています。

当第3四半期連結累計期間は、売上高45百万円(前年同期比62.7%増)となりました。当区分の売上高は、特注システム等の受注状況により大きく変動いたします。

その他製品

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ(交換部品)販売、自社販売のDNA自動抽出装置に使用される遺伝子やタンパク質の抽出・精製の試薬、ソフトウェアの受託開発などの区分であります。

当第3四半期連結累計期間は、売上高301百万円(前年同期比22.6%減)となりました。ロシュグループ及びキアゲングループ向けの販売が、前年同期比で大きく落ち込みましたが、当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

商品(プラスチック消耗品)

当区分は、装置の使用に伴い消費されるチップやカートリッジなど、当社装置の専用プラスチック消耗品の区分であります。

当第3四半期連結累計期間は、売上高485百万円(前年同期比58.3%減)となりました。ロシュグループ及びキアゲングループ向けの販売が、前年同期比で大きく落ち込みましたが、当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

当第3四半期連結累計期間の日本の売上高は1,989百万円（前年同期比47.2%減）となり、その内、外部顧客に対する売上高は470百万円（前年同期比31.1%減）となりました。前年同期の外部顧客に対する売上高が大きく伸びた要因は、国内警察関係への大量販売が実施されたことによるものでした。これは、米国OEM先であるライフテクノロジー社への販売でしたが、納品先が国内であったため日本の販売となりました。その反動により、売上高の減少となりました。また、ロシュグループ及びキアゲングループ向け販売も落ち込んだことから、ドイツとのセグメント間売上も減少いたしました。一方で、営業費用は2,158百万円（前年同期比30.7%減）となり、営業損失168百万円（前年同期は営業利益649百万円）となりました。

米国

当第3四半期連結累計期間の米国の売上高は589百万円（前年同期比31.7%増）となりました。米国OEM先への販売が好調に推移したことから、大きく売上が伸びました。一方で、営業費用は567百万円（前年同期比42.6%増）となり、営業利益22百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

ドイツ

当第3四半期連結累計期間のドイツの売上高は1,301百万円（前年同期比64.2%減）となりました。ロシュグループ及びキアゲングループ向け販売が大きく落ち込んだことによるものです。一方で、営業費用は1,291百万円（前年同期比62.0%減）となり、営業利益9百万円（前年同期比95.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(a) 資産

当第3四半期連結累計期間末の資産合計は5,042百万円となり、前連結会計年度末の5,238百万円に比べ196百万円の減少となりました。

現金及び預金が142百万円減少、受取手形及び売掛金が116百万円減少、商品及び製品が21百万円減少したことなどから、流動資産全体では328百万円の減少となりました。

また、金型の設備投資などにより有形固定資産が99百万円増加、ソフトウェアへの投資により無形固定資産が20百万円増加、投資その他の資産が12百万円増加し、固定資産全体では132百万円の増加となりました。

(b) 負債

当第3四半期連結累計期間末の負債合計は2,022百万円となり、前連結会計年度末の1,868百万円に比べ154百万円の増加となりました。

短期借入金が100百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が128百万円増加した一方、1年内償還予定の社債が150百万円減少、その他流動負債が153百万円減少したことなどから、流動負債全体では105百万円の減少となりました。

また、長期借入金が489百万円増加した一方、1年内償還予定の社債への振替により社債が200百万円減少、繰延税金負債が29百万円減少したことなどから、固定負債全体では259百万円の増加となりました。

(c) 純資産

当第3四半期連結累計期間末の純資産合計は3,020百万円となり、前連結会計年度末の3,370百万円に比べ350百万円の減少となりました。

配当金の支払い及び四半期純損失の発生により利益剰余金が364百万円減少した他、為替換算調整勘定が29百万円増加、少数株主持分が14百万円の減少となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の連結ベースの現金及び預金同物（以下「資金」という。）は2,494百万円となり、前連結会計年度末の2,636百万円に比べ142百万円の減少となりました。下記(a)から(c)におけるキャッシュ・フローにより163百万円減少した他、資金に係る換算差額により21百万円増加したことによるものであります。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費96百万円、売上債権の減少135百万円などによる資金の増加がありましたが、税金等調整前四半期純損失の発生225百万円、未払金の減少などその他の資金の減少100百万円、法人税等の支払額108百万円などによる資金の減少があり、営業活動によるキャッシュ・フローとしては230百万円の減少（前年同期は353百万円の増加）となりました。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入7百万円による資金の増加がありました。有形固定資産の取得による支出142百万円、無形固定資産の取得による支出22百万円、投資有価証券の取得による支出（PSSキャピタル㈱が運営するベンチャーファンドによる投資実行）4百万円などによる資金の減少があり、投資活動によるキャッシュ・フローとしては160百万円の減少（前年同期は136百万円の減少）となりました。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加による収入（純増減）100百万円、長期借入れによる収入850百万円による資金の増加がありました。長期借入金の返済による支出231百万円、社債の償還による支出350百万円、配当金の支払額133百万円などによる資金の減少があり、財務活動によるキャッシュ・フローは227百万円の増加（前年同期は950百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月4日発表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当第3四半期連結累計期間の業績は、その予想の範囲内で推移しておりますので、業績見通しに変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

（たな卸資産の評価方法）

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,494,157	2,636,442
受取手形及び売掛金	542,285	658,796
商品及び製品	729,932	750,947
仕掛品	24,948	14,182
原材料及び貯蔵品	10,295	13,625
繰延税金資産	-	9,000
その他	113,372	162,520
貸倒引当金	2,070	3,969
流動資産合計	3,912,921	4,241,546
固定資産		
有形固定資産	852,251	752,978
無形固定資産	24,807	4,095
投資その他の資産	252,458	239,910
固定資産合計	1,129,518	996,984
資産合計	5,042,440	5,238,531
負債の部		
流動負債		
買掛金	239,244	231,554
短期借入金	100,000	-
1年内償還予定の社債	200,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	348,145	219,706
リース債務	11,285	8,986
未払法人税等	10,205	83,942
役員賞与引当金	6,709	-
賞与引当金	32,282	5,666
その他	101,694	254,766
流動負債合計	1,049,568	1,154,623
固定負債		
社債	-	200,000
長期借入金	916,777	426,781
リース債務	16,416	16,088
繰延税金負債	38,329	67,797
負ののれん	669	2,676
その他	447	166
固定負債合計	972,639	713,509
負債合計	2,022,207	1,868,132

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,217,194	2,217,194
資本剰余金	251,999	251,999
利益剰余金	479,506	843,866
株主資本合計	2,948,699	3,313,060
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	101,726	130,757
評価・換算差額等合計	101,726	130,757
新株予約権	1,544	1,544
少数株主持分	171,713	186,551
純資産合計	3,020,232	3,370,398
負債純資産合計	5,042,440	5,238,531

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
売上高	4,697,006	2,356,871
売上原価	2,906,810	1,537,750
売上総利益	1,790,196	819,120
販売費及び一般管理費	997,673	1,068,693
営業利益又は営業損失()	792,523	249,572
営業外収益		
受取利息	2,687	899
持分法による投資利益	9,864	14,529
助成金収入	-	23,620
その他	5,725	5,962
営業外収益合計	18,276	45,012
営業外費用		
支払利息	14,297	13,979
為替差損	18,972	12,332
新株予約権発行費	5,623	-
その他	692	532
営業外費用合計	39,585	26,843
経常利益又は経常損失()	771,214	231,403
特別利益		
固定資産売却益	7,285	3,867
貸倒引当金戻入額	-	2,131
その他	-	11
特別利益合計	7,285	6,011
特別損失		
固定資産除却損	26	561
投資有価証券評価損	29,641	-
特別損失合計	29,668	561
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	748,831	225,954
法人税、住民税及び事業税	98,430	33,417
法人税等調整額	889	17,064
法人税等合計	99,319	16,353
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	242,307
少数株主損失()	44,940	14,837
四半期純利益又は四半期純損失()	694,452	227,470

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	748,831	225,954
減価償却費	79,924	96,203
のれん償却額	2,007	2,007
引当金の増減額(は減少)	63,464	30,717
受取利息及び受取配当金	2,687	899
支払利息	14,297	13,979
新株予約権発行費	5,623	-
持分法による投資損益(は益)	9,864	14,529
固定資産売却損益(は益)	7,285	3,867
固定資産除却損	26	561
投資有価証券評価損益(は益)	29,641	-
売上債権の増減額(は増加)	638,210	135,771
たな卸資産の増減額(は増加)	65	19,545
仕入債務の増減額(は減少)	107,608	16,591
その他	25,047	100,226
小計	414,476	106,387
利息及び配当金の受取額	2,703	899
利息の支払額	16,547	16,263
法人税等の支払額	47,271	108,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	353,360	230,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	150,000	-
有形固定資産の取得による支出	56,196	142,027
有形固定資産の売却による収入	4,618	7,631
無形固定資産の取得による支出	240	22,830
投資有価証券の取得による支出	234,570	4,000
その他	20	596
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,408	160,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	600,000	100,000
長期借入れによる収入	500,000	850,000
長期借入金の返済による支出	271,140	231,565
社債の償還による支出	-	350,000
リース債務の返済による支出	264	7,207
配当金の支払額	-	133,684
新株予約権の行使による株式の発行による収入	25,000	-
新株予約権の発行による支出	3,247	-
少数株主からの払込みによる収入	100,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	950,348	227,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,583	21,259
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,120,715	142,285
現金及び現金同等物の期首残高	1,952,556	2,636,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,073,271	2,494,156

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

バイオ関連事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	ドイツ (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	683,135	387,452	3,626,418	4,697,006	-	4,697,006
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,082,042	60,366	5,298	3,147,706	(3,147,706)	-
計	3,765,177	447,818	3,631,716	7,844,713	(3,147,706)	4,697,006
営業利益	649,946	50,022	236,531	936,499	(143,976)	792,523

(注) 地域は、国毎に区分しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	ドイツ	スイス	米国	その他	計
海外売上高(千円)	2,662,517	903,390	685,854	103,346	4,355,108
連結売上高(千円)					4,697,006
連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	56.7	19.2	14.6	2.2	92.7

(注) 1. 地域は、国毎に区分しております。

2. その他の区分に含まれる国は、英国、ノルウェー、スペイン、フランス、スウェーデン、カナダ等でありま
す。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に日本において主力製品であるDNA自動抽出装置等の生産を行い、海外現地法人を通じて、世界各国に製品を提供しております。各々の現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、それぞれの地域特性に応じた包括的な戦略を立案し、独立性をもち事業活動を展開しております。

したがって、当社グループの報告セグメントは販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」及び「ドイツ」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	ドイツ	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	470,367	588,091	1,298,413	2,356,871	-	2,356,871
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,519,522	1,776	3,105	1,524,403	1,524,403	-
計	1,989,889	589,867	1,301,518	3,881,275	1,524,403	2,356,871
セグメント利益又はセグメント損失()	168,156	22,465	9,776	135,914	113,658	249,572

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 113,658千円には、セグメント間取引消去9,288千円及び、配賦不能営業費用 122,947千円が含まれており、その主なものは、親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失()と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。